

不定詞 (to + 動詞)

1. 不定詞 (ふていし) ってなに？

これまで「動詞 (play, eat など)」は、「～する」という動作を表すためだけに使ってきました。

しかし、「to」とセットにすることで、動詞を別の役割に変身させることができます。これを「不定詞」と呼びます。

【基本公式】

to + 動詞の原形

この形にするだけで、以下の3つの意味に変化します。

1. ～すること (名詞に変身！)
2. ～するために・～して (副詞に変身！)
3. ～するための・～すべき (形容詞に変身！)

2. ① 名詞的用法 (～すること)

動詞を「名詞」に変える用法です。

「サッカーをする」→「サッカーをすること」と言えるようになります。

【訳し方】

～すること

よく使うセット (絶対に覚える！)

特に「～したい (want to)」はテストに必ず出ます。

- ・ want to ～ (～したい = ～することを欲する)
- ・ like to ～ (～するのが好き = ～することを好む)
- ・ try to ～ (～しようとする = ～することを試みる)
- ・ start to ～ (～し始める = ～することを始める)

【例文】

- ・ I want to play soccer. (私はサッカーがしたいです)
- ・ He likes to swim. (彼は泳ぐことが好きです)
- ・ To study English is important. (英語を勉強することは大切です)

3. ② 副詞的用法 (～するために／～して)

動詞を「理由」や「目的」を説明する言葉（副詞）に変える用法です。

大きく分けて2つのパターンがあります。

パターン A：目的 (～するために)

「なぜそこに行ったの?」「～するために行ったよ」と目的を説明します。

文の後半にくっつくことが多いです。

・ I got up early to study. (私は勉強するために早起きました)

・ He went to the park to play tennis. (彼はテニスをするために公園へ行きました)

パターン B：感情の原因 (～して)

「うれしい」「悲しい」という気持ちを表す言葉の後ろにくっついて、「～して (うれしい)」と理由を説明します。

・ I am happy to see you. (あなたに会えてうれしいです)

・ I was sad to hear the news. (その知らせを聞いて悲しかったです)

4. ③ 形容詞的用法 (～するための／～すべき)

これが一番苦手な人が多い用法です。

名詞の後ろにくっついて、その名詞を詳しく説明します。

【公式】

名詞 + to ~

(～するための名詞、～すべき名詞)

必ず名詞の後ろに置くのがルールです！

・ books to read (読むための本 → 読むべき本)

・ time to sleep (寝るための時間 → 寝る時間)

・ homework to do (やるべき宿題)

【例文】

・ I have many books to read. (私は読むべき本をたくさん持っています)

・ I want something to drink. (私は何か飲み物 (飲むための何か) がほしいです)

5. 3つの用法の見分け方（テスト対策）

「次の不定詞と同じ用法のものを選びなさい」という問題がよく出ます。

以下のポイントで見分けてみましょう。

用法	訳	見分けるヒント
①名詞的	～すること	want to, like to の形ならこれ！ 「～するの」と言い換えられる。
②副詞的	～するために ～して	「目的（動作の理由）」か「感情（happy など）」ならこれ！ 文の後ろの方にあることが多い。
③形容詞的	～するための ～すべき	「名詞」のすぐ後ろにくっついていたらこれ！ something to ～, time to ～ など。